

# 委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 6年12月 2日

胎内市議会議長

八幡元弘様

(報告者) 厚生環境常任委員会  
委員長 羽田野孝子

厚生環境常任委員会閉会中所管事務調査 について、  
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 令和 6年11月29日 至 令和 6年11月29日 泊 1日 ( 1日間)	調査・研修 場所	・訪問看護ステーション中条愛広苑 (中条中央病院内) ・訪問看護ステーションラボ
調査・研修 事項	① 介護保険事業、訪問看護の現状について (中条愛広苑) ② 訪問介護の現状について (株式会社ケアナー斯拉ボ)		
調査・研修 出席者(参加者)	羽田野孝子 坂上 隆夫 渡辺 栄六 坂上 清一 渡辺 秀敏 森本 将司 笥 智也 増子 達也 金子 千恵福祉介護課長 佐藤 一孝議会事務局長		
相手方(対応者)	中条愛広苑事務長 遠山 修 訪問看護ステーション中条愛広苑所長 市原 美和子 株式会社ケアナー斯拉ボ代表取締役 豊嶋 由起子		

## 調査の結果または概要

「訪問看護ステーション中条愛広苑」は2008年から中条愛広苑で事業を開始したが、2023年2月から中条中央病院へ移転した。看護職員9人・リハビリ職員4人の13人で従事している。利用者は150人で、要支援1～要介護5が対象で、医療保険の利用者もいる。胎内市のほか村上市・新発田市へも行っている。看護は24時間体制で対応している。ほかに、在宅サービスは訪問介護・通所リハビリテーション・小規模多機能型居宅介護・短期入所が行われていた。入居はグループホームで9人、入所は中条愛広苑で100人。

「訪問看護ステーションラボ」は2023年7月に、豊島由起子がん看護専門看護師が開設した。スタッフは3人でスタートし、現在は5人で12人の訪問看護をしている。対象者は医療保険のがん末期の方の麻薬管理・点滴・在宅酸素・入浴介助等と、介護保険利用者の看護。開設して1年5か月になるが、1年は赤字で8月からはぎりぎりの状態で利用者が増えないのが悩みと話していた。

## 調査の所見・感想

「訪問看護ステーション中条愛広苑」は、幅広く150人に看護とリハビリを提供していた。コロナ感染が始まった1年から2年は施設では面会もままならないと在宅介護が増えたが、5類になってからは減少した。まだ、余力がある状態との説明であった。中条愛広苑は多種多様なサービスが揃っていて、多様なニーズに十分応えられていると感じた。

「訪問看護ステーションラボ」は、がん看護専門看護師が地域医療に役立ちたい、患者の生活を支えたいとの思いから開設して1年5か月、在宅でがん末期の家族を安心して看取ることができたとの声が聞かれるようになった。利用者が増えないと困っていたが、今後、在宅で看取る人にとってはなくてはならない存在である。市民にとっては訪問看護の選択肢が増えることは重要であり、継続できるよう応援したいと思った。